

2025年度 公立鳥取環境大学 脱炭素実行計画

Scope	分類、内容	備考	2023 実績	主なもの	2030目標 [2023との差]	2025	2026～2027	～2030
1	燃料の燃焼	冷暖房:LPG,灯油 車:ガソリン、軽油	283 t	LPG 278 t		太陽光発電 21.2kW	70.2kW	
2	他者が供給する 電気の使用		798 t			照明のLED化工事	LED化	
						熱源・空調改修 設計・工事 ～2028		
						ZEB改修 認証・工事 (学生センター) ～2028		
						再エネ電力調達	再エネ電力調達の継続	
		合計	1,081 t		620 t [▲461 t]			
3	カテゴリ1 購入製品・サービス	事務用品、印刷物、複 写機賃借料など	621 t	対事業所サービス 202 t 用品、消耗品等 173 t 修理、修繕 69 t 書籍、印刷物 68 t コピー用紙 24 t		大学事務のDX化・ペーパーレス化 (出張旅費システム、全学システム導入、運用)		
	カテゴリ2 資本財	試験研究機器等の固 定資産	682 t	建物附属設備 336 t 工具、器具等 149 t 建物 124 t		削減策を検討し、可能なものから実施 (例 グリーン購入など)		
	カテゴリ3 燃料、エネルギー活動	調達燃料、電力の上 流工程 (採掘等)	175 t	電力 124 t LPG 50 t		削減策を検討し、可能なものから実施 (例 環境配慮工事発注など)		
	カテゴリ5 事業から出る廃棄物	廃油、廃プラ、紙ゴミな ど	8 t	廃油 3 t、廃プラ 3 t、 紙ゴミ 2 t		※Scope 1, 2 の削減に連動して減少		
	カテゴリ6 出張	教職員、学生の出張	62 t	教職員 42 t 学生 21 t		ウォーターサーバ (廃プラ削減)、大学事務のDX化・ペーパーレス化		
	カテゴリ7 雇用者の通勤	教職員の通勤 学生の通学	274 t	学生 232 t 教職員 42 t		削減策を検討し、可能なものから実施 (例 出張の交通手段指定など)		
		合計	1,822 t		1,405 t [▲417 t]			
その他						脱炭素研究 (特別研究費助成「鳥取市脱炭素先行地域」～2028)		
						啓発イベントの実施 (TUES Sustainability Week等)		
						脱炭素教育の充実検討、新たな脱炭素教育の実施		
						エネルギー使用量、CO2排出量の見える化検討		

※実線は取組内容が決まって実施中、点線は具体的な取組内容、実施が未定